

河川

河川事業（10水系：新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系）
 ダム事業（3箇所：大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、足羽川ダム）
 地すべり対策事業（1箇所：亀の瀬地区）
 砂防事業（4箇所：六甲山系、木津川水系、九頭竜川水系、紀伊山系）
 海岸事業（1箇所：東播海岸）

国民の安全・安心の確保

治水対策～災害防止のための水害・土砂災害対策を重点的に実施～

近年大きな被害を与えた災害に対し、緊急的な治水対策を実施することで再度災害を防止します。また水害に備えた防災対策により治水安全度を向上させ、地域の安全・安心を確保します。

■円山川遊水地事業



■由良川緊急治水対策

着手：H26
 期間：概ね5年

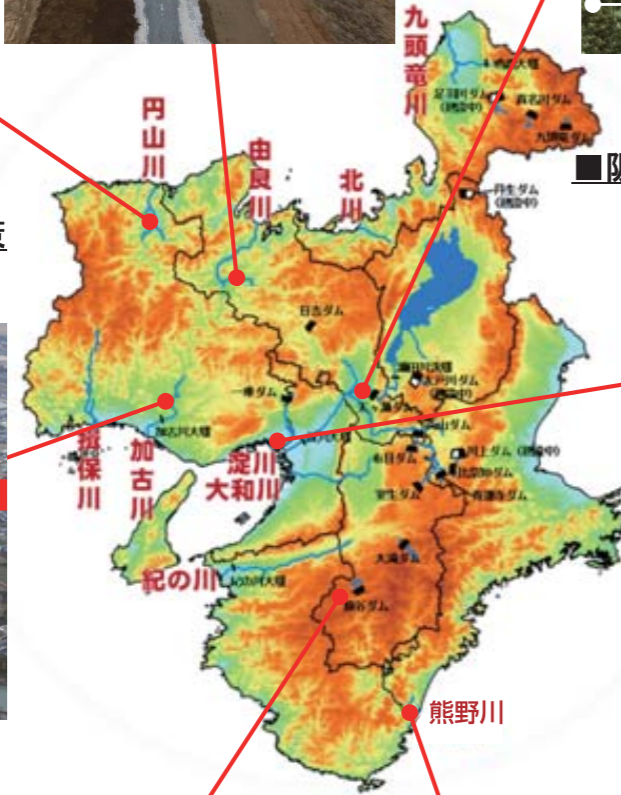


■天ヶ瀬ダム再開発事業

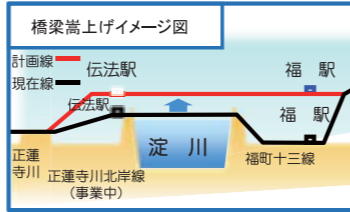


■加古川中流部緊急治水対策

着手：H29
 期間：概ね10年



■阪神なんば線淀川橋梁改築事業



■紀伊山系直轄砂防事業



■熊野川緊急治水対策

着手：H29
 期間：概ね5年



地域の活性化と豊かな暮らしの実現

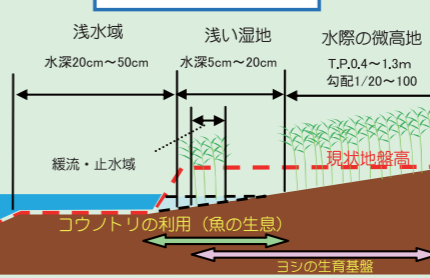
河川を軸とした生態系ネットワークの推進



湿地整備等、水辺環境の保全・再生を行い、多様な生物の生態系ネットワークの形成を図ります。



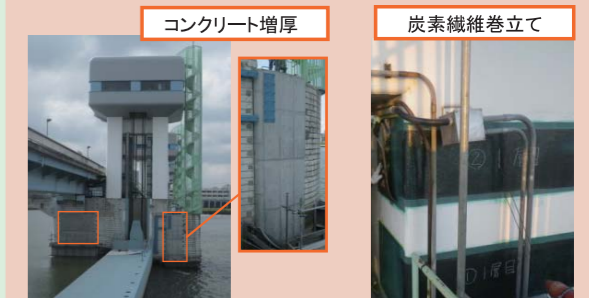
湿地整備 イメージ図



南海トラフ巨大地震対策等の推進



切迫する南海トラフ等の大規模地震に備えるため、耐震対策を実施します。



「水防災意識社会」の再構築に向けた取組

関東・東北豪雨を踏まえて策定した「水防災意識社会再構築ビジョン」として、平成32年度を目途に実施する河川整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策・危機管理型ハード対策）を引き続き実施します。

危機管理型ハード対策



【紀の川】堤防を越水しても壊れないよう家屋側もブロックを張った堤防

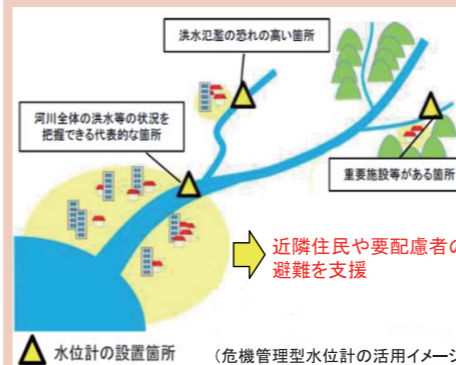


住民目線のソフト対策

【揖保川】住民自ら避難経路の危険箇所を確認



中小河川では、避難の状況判断や河川計画等の策定のための水位計の設置が進んでおらず、洪水時における河川水位等の現況把握が困難であることから、水位把握の必要性の高い中小河川において、洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）を設置し、近隣住民の避難を支援します。



開発された水位計の例

